

## II. 教育・文化

都市生活に不可欠な都市基盤の整備、具体的には、上下水道、道路、ゴミ処理などの整備は武蔵野市においては進捗しつつあり、また、義務的な教育、福祉などの制度の整備も進んでいる。しかし、21世紀を視野にいたれたまちづくりを考えるなら、便利・快適といった手段としての都市生活のイメージを越えて、市民一人ひとりの自己実現の場としてのコミュニティづくり、共助と学習の機会を含んだ新たな都市的なライフスタイルの実現へと視点を以降していく必要がある。

教育・文化におけるこのような方向性は近年いよいよその重要性が指摘される生涯学習に向けたまちづくりと軌を一にするものである。生涯学習とは、成熟した市民社会における多様な市民（乳幼児から高齢者までの、男性・女性、勤労者・サラリーマン、障害者、外国人などを含むすべての市民）がそれぞれに固有な生活充実や自己形成の欲求にもとづいておこなう自発的、相互的な学習と参加の活動であり、今後の地域社会づくりの核となるものである。

教育・文化の領域における市のさまざまな施策は、今後こうした方向の実現にむけていっそうの内容の充実と有機的な組織化をはかっていくべきである。教育の領域では、学校における教育の質の向上、すなわち子どもたちの個性的な発達願望に即した教育の実現が重要であるとともに、教育を学校の枠に限定することなく、市民全般の文化水準の向上に広く貢献するものとする必要がある。また、文化の領域については、市民レベルの多様な

情報創造・情報発進を振興し、それを通じた新たな市民間の連帯やコミュニティの形成がはかられるよう促していく必要がある。

以上の方向性は、今後都市生活がいっそう成熟していくにつれて、その重要性をいよいよ増していくにちがいない。教育・文化は将来の市政の重要な戦略領域になると言って過言でない。以下では、教育・文化の領域を、学校教育、市民文化、市民スポーツ、コミュニティ、生涯学習のしくみづくりの5つの問題に整理し、それぞれについて課題と方策を述べる。

### 1. 小・中学校教育の充実

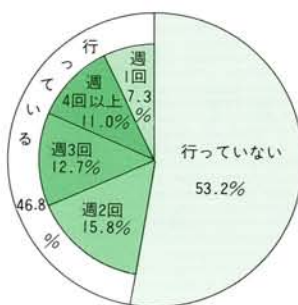
#### (1) 学校教育の質の向上

通塾率の高さ、公立離れの傾向など、市の小・中学校をとりまく環境には厳しいものがある。これには制度などのさまざまな要因が考えられるが、長期的には教育機能をいっそう高めていくことが何より重要である。

武蔵野市のような高学歴の親の多い都市では、学校

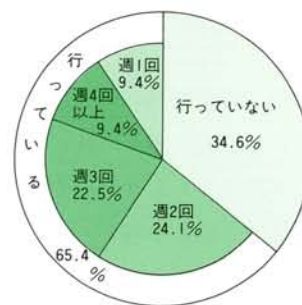
#### 通塾率

—通塾している子が約半数—



小学生（4年と6年）サンプル数1533

—週2～3回以上が半数—



中学生（2年）サンプル数 804

出典：『子どもの生活実態調査』（S62.3）P.45/61

に期待される教育の質は高く、また多様である。そのような高度で多様な期待に応えるには、授業や指導の方法・内容の向上、教材の充実が必須である。また同時に、情報化社会に対応する教育、国際化教育、体験教育、生涯教育など、これからの新しい教育ニーズに積極的に応えていく必要がある。

本調整計画では、21世紀を視野にいたした学校教育の質の改善・強化に取り組んでいく。

この目的のために、

- ① 従来よりの武蔵野市独自の方式による教員研修のいっそうの充実をはかる。
- ② 教材の開発から指導の方法までを含めた教育のノウハウを研究・蓄積し、教員の意欲的な取り組みに応じて情報や助言を与えることのできる施設を設置する。
- ③ 近年増加しつつある学校嫌いの子どもたちに対する教育についても本格的に検討し、受け入れ態勢や施設の整備をはかる。
- ④ コンピュータ教育の実施、教育・児童・生徒の国際交流の促進、国際理解教室の設置、セカンドスクール（長期移動教室）の設置などをはかる。

これらの実施にあたっては教育内容、人材、施設の3点の充実に留意する必要があるが、特に、開かれた学校づくりの観点から地域社会との交流をはかり、生涯学習社会づくりの一環に位置づけていく。

## (2) 学校運営の改善

学校の活性化・開かれた学校づくりをめざして、学校・地域・家庭の協力システムを確立する。地域社会のさまざまな人材に授業、クラブ・部活動、学校行事、進路指導、図書室運営などに積極的に参加してもらう

制度を整備し、学校の教育機能を高めるとともに、学校の教育活動の裾野が家庭や地域社会にも及ぶよう積極的な取り組みを推進していく。

また、教員が本来の教育や指導の活動に専念できるよう、学校における膨大な事務処理の効率化について前向きに検討する。

## (3) 学校施設の改善

老朽化した学校施設については経過年数、将来の児童・生徒数の推移予測や付近の再開発計画の見通しをみて、改築などをおこなっていく。

- ① 千川小学校の校舎・体育館・プールの改築をおこなう。新校舎はゆとりある教育にふさわしいデザインとスペースを備えたものとする。また、この改築とあわせて、千川こどもクラブの移転について検討する。
- ② 第四中学校の体育館・プール、群咲学級の校舎の改築をおこなう。これに際しては、群咲学級と普通学級の教室の教育上望ましい配置に十分配慮し、今後の障害児教育の発展に資する校舎とする。
- ③ 桜堤調理場の改築をおこなう。

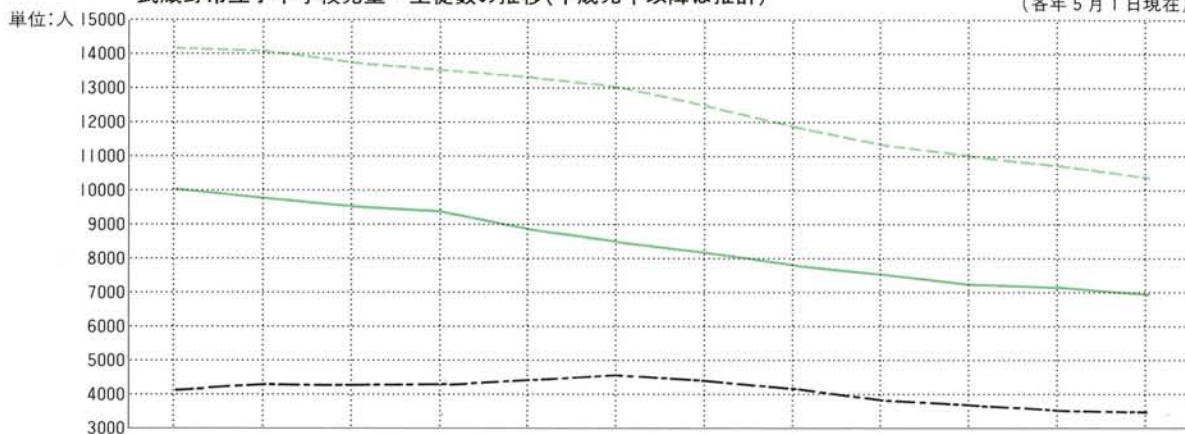
今後の学校施設の改修・改築にあたっては、将来の利用計画（学校開放の進展や新しい教育方法・機器の普及など）を検討し、それにふさわしい施設とする。

## (4) 学校施設の有効利用

近年の児童・生徒数の減少により、各学校とも空き教室など学校施設に余裕がみられるようになってきている。これらについては将来的な見通しにたった利用計画を作成し、まずなにより児童・生徒の教育の改善に直接つながる有効利用を促進していくべきである。

武蔵野市立小中学校児童・生徒数の推移(平成元年以降は推計)

(各年5月1日現在)



| 年 度        | 昭和56年  | 昭和57年  | 昭和58年  | 昭和59年  | 昭和60年  | 昭和61年  | 昭和62年  | 昭和63年  | 平成元年   | 平成2年   | 平成3年   | 平成4年   |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| — 小学校児童数   | 10,062 | 9,806  | 9,470  | 9,292  | 8,867  | 8,434  | 8,140  | 7,768  | 7,566  | 7,282  | 7,222  | 6,959  |
| - - 中学校生徒数 | 4,125  | 4,265  | 4,277  | 4,294  | 4,421  | 4,540  | 4,340  | 4,113  | 3,775  | 3,687  | 3,508  | 3,434  |
| --- 合 計    | 14,187 | 14,071 | 13,747 | 13,586 | 13,288 | 12,974 | 12,480 | 11,881 | 11,341 | 10,969 | 10,730 | 10,393 |

資料：教育委員会学務課

心身障害学級一覧

(昭和63年5月1日現在)

| 障害別      | 学級の名称           | 学級数 | 児童・生徒数 |
|----------|-----------------|-----|--------|
| 精神薄弱     | い ず み(第二小学校)    | 1   | 4      |
|          | む ら さ き(第四小学校)  | 1   | 6      |
|          | む ら さ き(大野田小学校) | 1   | 10     |
|          | け や き(境南小学校)    | 1   | 5      |
|          | 群 咲(第四中学校)      | 2   | 13     |
| 難聴・言語障害  | こ だ ま(桜堤小学校)    | 2   | 22     |
| 難 聴      | エコールーム(第一中学校)   | 1   | 5      |
| 肢体不自由    | い ぶ き(千川小学校)    | 1   | 4      |
|          | い と す ぎ(境南小学校)  | 1   | 2      |
| 院 内(病 弱) | い と す ぎ(第六中学校)  | 1   | 5      |
|          | こ ぶ し(境北小学校)    | 1   | 6      |
| 情 緒 障 害  | こ ぶ し(第二中学校)    | 1   | 5      |
|          | こ ぶ し(第二中学校)    | 1   | 5      |
| 障 害 幼 児  | べ こ の こ         | 1   | 8      |

資料：教育委員会学務課

第三中学校ランニングコース



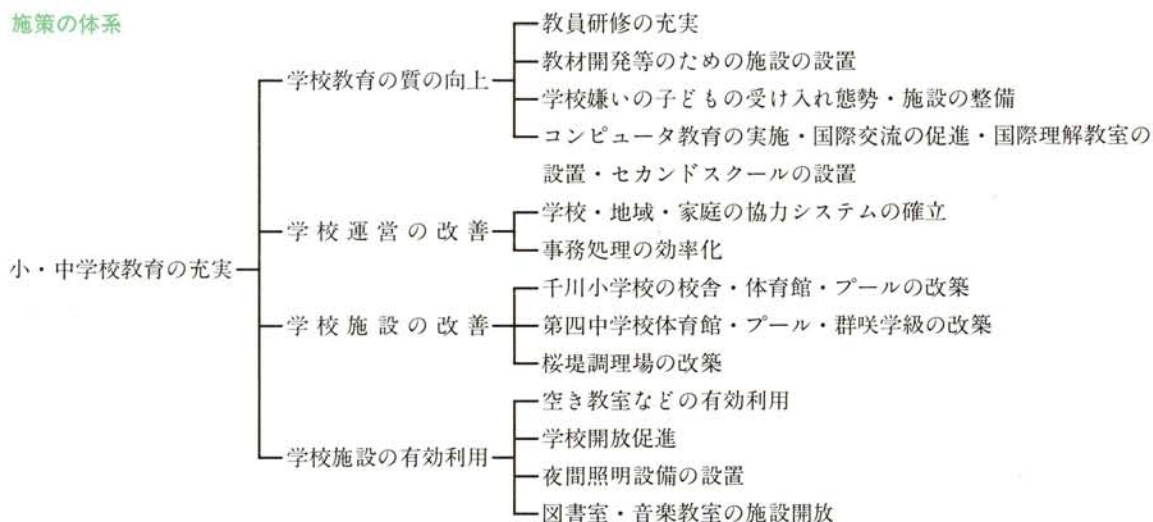
また他方、学校の始業前・放課後の子ども生活の改善、市民全般のスポーツ・生涯学習の振興という観点からみると、学校はコミュニティ内の貴重な施設である。この面での学校施設の有効利用を今後ともいっそう促進していく必要がある。

- ① 空き教室などに必要な改修を加えて、その有効利用をはかり、児童・生徒にゆとりある教育を実施していく。
- ② これまで実施されてきた校庭・体育館の開放はか

なりの成果をあげているので、これを逐次小・中学校全校で実施していく。学校の機械警備を導入する際には、学校開放施設管理員を配置し、円滑な施設開放がおこなわれるようにする。

- ③ 近隣住民の理解をえながら、校庭の夜間照明設備を設置し、利用時間の延長をはかる。
- ④ 図書室や音楽室などについても、児童・生徒の利用を最優先しながら、市民への施設開放について具体的に検討をおこなう。

### 施策の体系



## 2. 豊かな市民文化の創造と普及

### (1) 中央図書館の改築など

昭和62年開設された吉祥寺図書館の利用動向をみると、市民の図書館需要が高いこと、しかも、より多様で快適なサービスを望んでいることがわかる。このような市民のニーズを考慮して市の図書館ネットワークの整備を急ぐ。

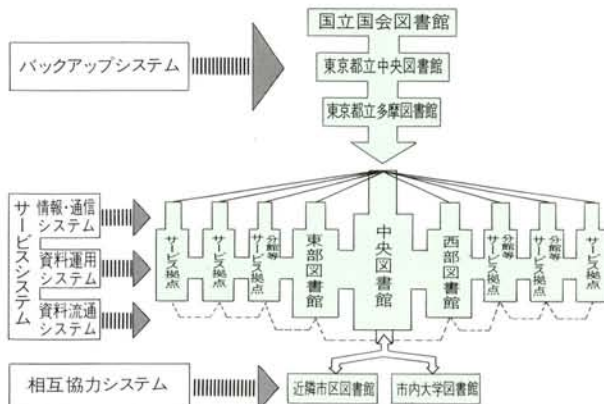
具体的には、

- ① 手狭になった中央図書館を改築し、市の中央館にふさわしい施設に拡充するとともに、レコード、ビデオテープ、CDなどの収蔵による情報提供の充実、リファレンス機能の充実、視聴覚室や展示室の設置による多機能化、障害者に対するサービスの充実、開館時間の延長などをはかる。なお、周囲の事情が

- ※ 市行政とは異なる柔軟な立場で機能し、活動できる国際交流事業の推進母体として、第三セクター方式による設立を目指す。  
主な事業は、情報の提供・交換、海外派遣、外国人受入、留学生問題、講座の開催など。
- ※※ 21世紀を担う中学生を国際化時代にふさわしい社会人に育てることを目的に、昭和61年度より実施した海外派遣事業である。夏休みの14日間、アメリカ・テキサス州の各都市を訪問し、ラボック市ではホームステイを行う。
- ※※※ これからの時代を担う高校生が国際化時代にふさわしい社会人に育つことを願って昭和63年度より実施した海外派遣事業である。夏休みの10日間、中国の北京、上海等を訪問し、現地の青少年達とスポーツ、文化交流を行う。

許すならば、現在地での改築に代えて、近接地に新築移転する方法をとり、中央図書館の閉鎖期間を最小限に短縮する。

#### 武蔵野市立図書館のサービスシステムとネットワーク化



出典:「武蔵野市における図書館の整備充実に関する基本構想」

- ② 武蔵境駅周辺に吉祥寺図書館に対応した西部地区図書館（仮称）を新設する。具体的な設置場所・規模などについては、駅周辺再開発計画全体の動向を勘案しながら検討する。
- ③ これらと同時に、各図書館と地域図書室、学校図書室とをつなぐ有機的な図書館情報ネットワーク・システムを導入し、どの館からでも市内の蔵書の有無・貸出状況が検索できるよう図書情報サービスの質の向上をはかる。

#### (2) 国際交流事業の推進

国際化の進展は外国人住民の増加など武蔵野市においても着実に進みつつある。このような趨勢に対する対応には国のレベルでなされるべきものも多々あるが、

市や市民レベルでなされるべき課題も多い。本市では、これに対して、外国人の市への受け入れ態勢の整備と市民レベルの国際交流の促進という2つの方針で臨む。

- ① 日本語や日本事情についての講座を開設し、生涯学習面での受け入れ態勢を整備する。
  - ② 担当窓口の充実をはかり、実状に応じたきめこまかなサービスを実施する。
  - ③ 外国人向けの広報活動のいっそうの充実をはかる。
  - ④ 国際交流委員会の答申にしたがい、国際交流事業団（仮称）を設置し、日常レベルの市民間交流の促進、ジュニア大使、青年の翼派遣などのいっそうの充実をはかる。
- (3) 婦人関連事業の推進
- 婦人問題については、婦人問題懇談会の答申を尊重し、婦人行動計画の策定などを検討し、具体的施策の推進をはかる。
- (4) 「緑と休養のネットワーク」の整備

過密都市化の進む武蔵野市の市民にとって、豊かな

#### 第3回ジュニア大使



ラボック市ランチングヘリテージセンターにて

自然と緑にふれる機会をえることは共通の願いとなっている。

そこで、

① 姉妹都市である利賀村、豊科町、友好都市である富士吉田市、川上村の計4市町村は優良な自然環境に恵まれた地域であるので、これらを「緑と休養のネットワーク」として位置づけ、施設面、事業面のいっそうの整備をはかり、市民レベルの交流を深める。

② さらに、市民の野外活動・文化活動、憩いの場として、また学校の体験教育の拠点としてふさわしい地域（海水浴適地および市から50キロ圏内の比較的近い地域）を新たに選定し、このネットワークに加え、市民が自然や緑に触れる機会を拡充する。

#### (5) 市民会館の改築など

① 境の市民会館の体育館・小ホールの改築をおこなう。

② 商工会館の改築とあわせて、美術展示場などの施

設の設置を検討する。

（本章Ⅲ、産業・消費・市民生活の2—(2)を参照）

③ 公会堂の改築については、その時期、新規施設の内容について検討を続けるが、この調整計画期間中における改築は困難である。

#### (6) 市民芸術・文化の振興

① 市民文化会館と芸能劇場の利用および活動をいっそう活性化するために、(財)武蔵野文化事業団の基本財産の増額、文化資金の受け入れ、文化事業のPR方法の改善、チケット販売・利用予約のOA化、鑑賞組織（友の会）づくりをおこなう。

② まちづくりとの関連で、三鷹駅から市民文化会館への道路の遊歩道化、芸能劇場周辺的环境整備を実施する。

③ 市民芸術文化協会が設立された。これを機に市民文化祭などのいっそうの充実をはかる。

#### (7) 美術館構想の検討など

① 井の頭公園自然文化園内にある故北村西望氏のアトリエ等跡地に都立美術館の建設を求める市民運動が展開されているが、同園内には、すでに法令上許容される建ぺい率一杯にまで建物が建っており、現在以上の床面積を確保することは、むずかしい模様である。しかし、関連建造物のなかには老朽化しているものもあるので、法定の建ぺい率の範囲内でこれらを改築し、小規模の彫刻館等を整備充実していく余地は残されている。そこで、市としても、井の頭公園の樹林地にふさわしく、また都民に開かれた彫刻館等の整備充実とその運営を求めて、東京都に要望していく。

② 市内、ことに武蔵境圏に市立の美術館の建設を求

豊科町より北アルプスを望む



# 姉妹・友好都市マップ

**利用の場合**

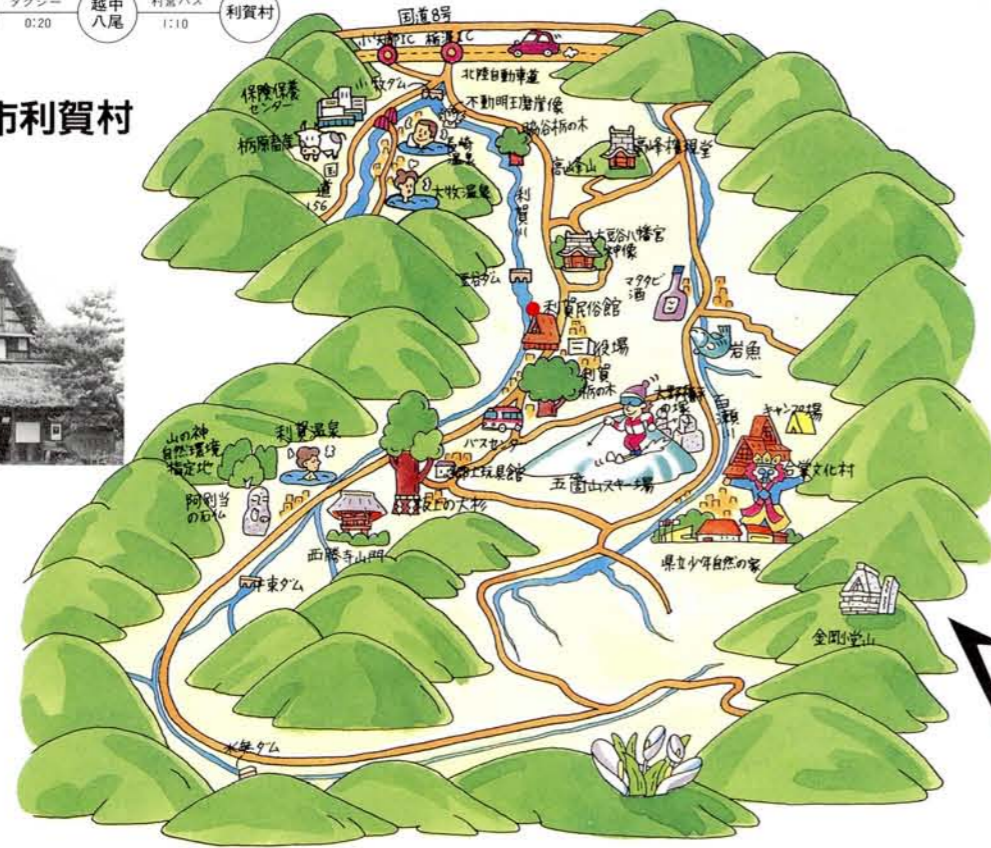
上野 1:40 新幹線 長岡 2:10 北陸線特急 富山 高山線 0:25 越中八尾 1:10 村宮バス 利賀村

**利用の場合**

羽田空港 1:05 飛行機 富山空港 0:20 タクシー 越中八尾 1:10 村宮バス 利賀村

## 姉妹都市利賀村

利賀民俗館



**利用の場合**

調布 IC 中央高速 2:00 岡谷 IC 1:30 ビレッジ安曇野 三鷹 中央線特急 3:00 松本 大糸線 0:25 柏矢町 徒歩0:20 タクシー0:05 ビレッジ安曇野

## 姉妹都市豊科町



ビレッジ安曇野



富士高原学園



## 友好都市川上村

市立自然の村より  
屋根岩を望む



## 友好都市富士吉田市

**利用の場合**

三鷹 中央線特急 0:50 小淵沢 小海線 1:00 信濃川上 村宮バス 0:40 川端下 徒歩 0:40 自然の村

**利用の場合**

調布 IC 中央高速 1:30 須玉 IC 1:30 自然の村

**利用の場合**

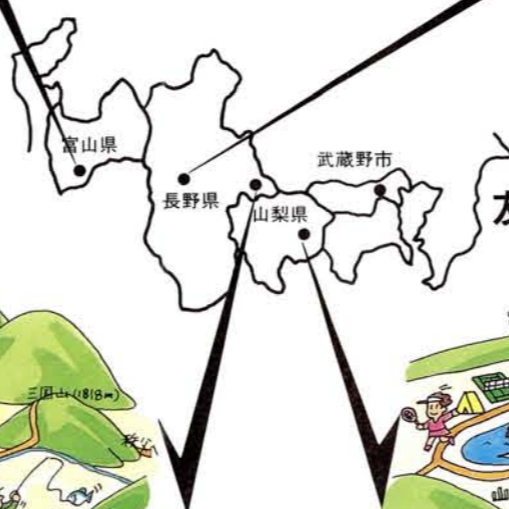
三鷹 中央線特急 0:50 大月 富士急行 0:50 富士吉田 タクシー0:05 富士高原学園 徒歩 0:35

**利用の場合**

新宿西口 中央高速バス 1:40 富士急ハイランド タクシー0:05 富士高原学園 徒歩 0:35

**利用の場合**

調布 IC 中央高速 1:00 河口湖 IC 0:05 富士高原学園







める市民運動が続けられている。そこで、市としても、全国各地の美術館の状況について詳しく調査研究をおこなってきた。だが、その件については市民の間にも賛否両論がある。建設を可とする場合でも、莫大な費用を要する美術品の購入には反対する意見が少なくない。そうなれば、常設展・企画展を中心とせずギャラリー機能（貸し展示場機能）中心のものか、寄贈品の展示を核にした小型美術館かになるう。

本市にふさわしいコンセプトの美術館構想がありうるか否か、専門家の意見を聴取するなどして、引き続き慎重に検討していく。

#### (8) 歴史資料館の建設

郷土の文献史資料に加え、市の保存文書、市政資料、その他地方自治関係資料などを集中的に収蔵し、これを展示し、閲覧に供する施設として武蔵野歴史資料館

を建設する。これは開村100年を記念する事業の一つであるとともに、本市の情報公開制度を充実したものにしていくための方策である。

#### (9) 民俗資料館構想の推進

古き良き武蔵野の面影が急速に失われてゆく現在、民家・民具など郷土の民俗資料を収集、保存、展示する施設の必要性は十分高まっていると考えられる。

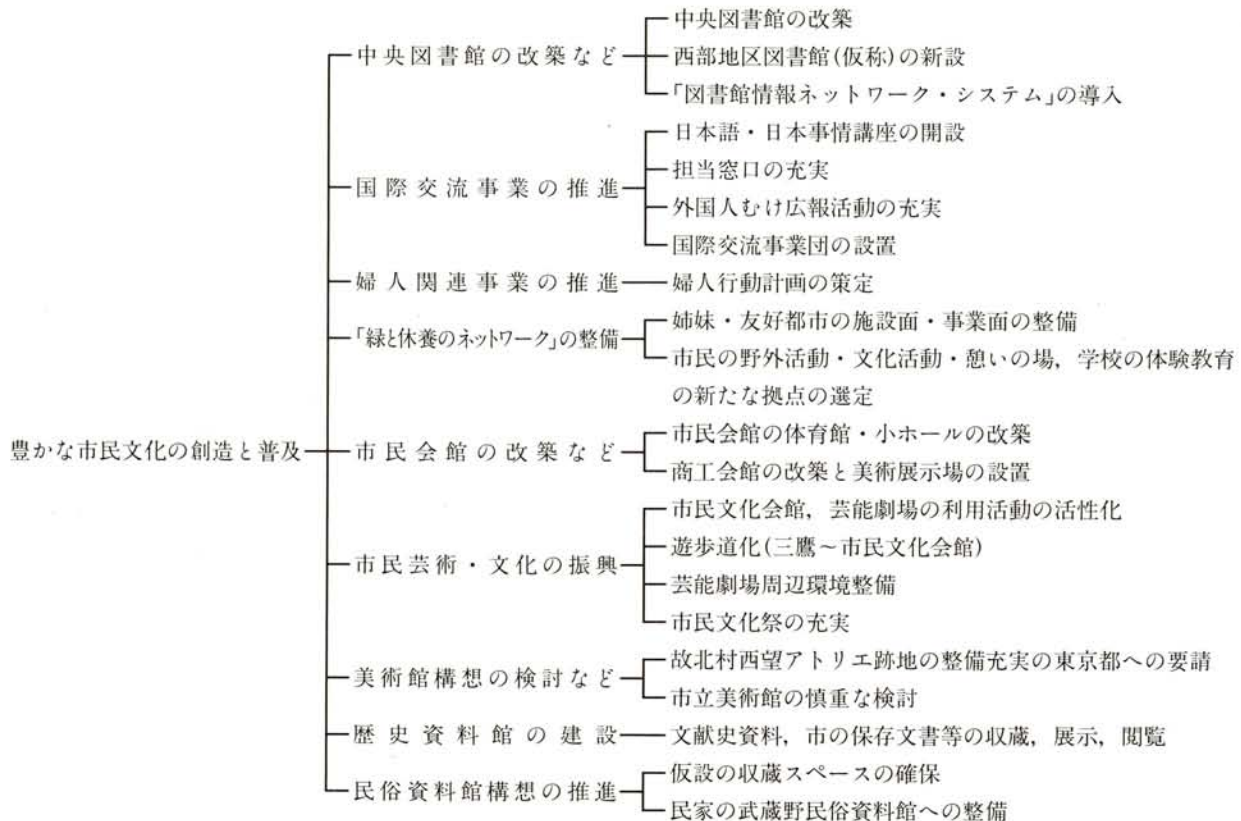
① これまでに市が収集している郷土の民俗資料の良好な保存をはかるため、とりあえず仮設の収蔵スペースの確保を急ぎ、貴重な資料の収集を円滑に進める。

② 開村100年を機に、武蔵野市のアイデンティティづくりや郷土の歴史の伝承をはかることを目的として、現存する民家をその敷地・屋敷林ごと保全し、これを武蔵野民俗資料館として整備していく方針を模索する。

貴重な武蔵野市の屋敷林



## 施策の体系



### 3. 市民スポーツ・野外活動の振興

#### (1) (財)スポーツ振興事業団(仮称)の設立と市民体育のネットワークづくり

総合体育館の竣工を機会に、市民体育・市民スポーツ活動のいっそうの促進をはかる組織づくりを重点的におこなう。

- ① 市民の健康づくり、体力づくりを目指して、上記事業団を設立する。総合体育館の有効利用をはかり、多様なスポーツ・野外活動の振興、指導者養成の事業をおこなう。これに関しては、保健センターとの

有機的な関連づけをはかる。

- ② この事業団を拠点として、市民の多様な体育・スポーツ活動のネットワークづくりを推進し、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくり・組織づくりに積極的に取り組む。

#### (2) 市内の体育施設の有効利用

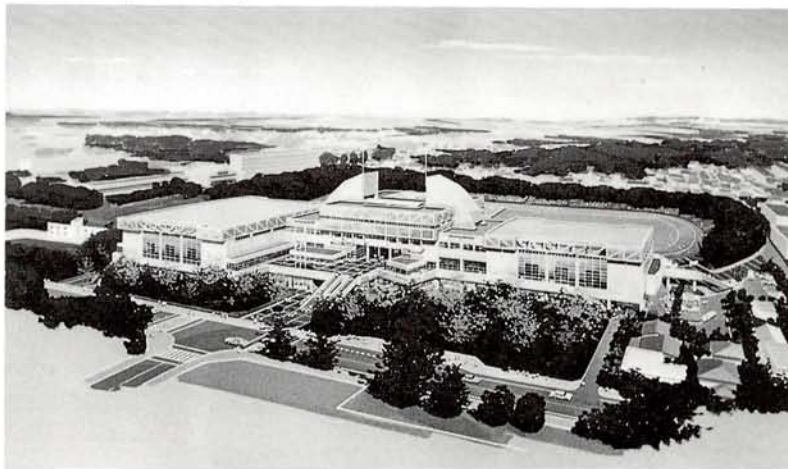
市内には学校の校庭、体育館、プールを含めて多様な体育施設があるが、利用条件や利用時間の制限、PR不足から必ずしも有効に利用されているとはいえない。市内の体育施設の全体的な見直しをおこなうと

もに、運営の柔軟化、PR方法の改善(スポーツ便利帳の作成など)をはかり、上記のネットワークづくりとあわせて、市民が身近な施設で気軽にスポーツに親しめる態勢を整備する。

### (3) 野外活動施設の整備

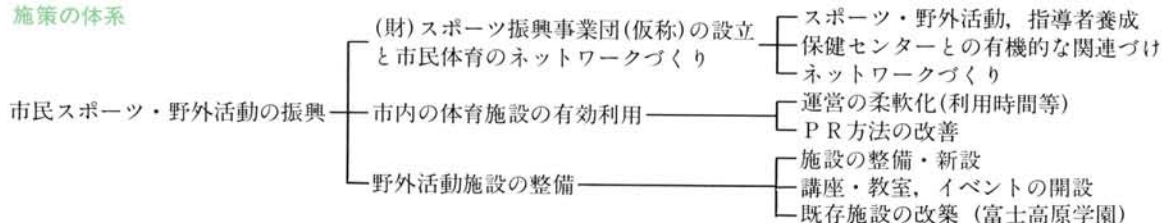
市内外の野外活動施設を整備・新設するとともに、講座・教室、イベントなどを積極的に開設し、市民の野外活動を施設、しくみの両面から振興していく。これは、学校での体験教育の実施や「緑と休養のネットワーク」の整備と関連しており、富士高原学園など既存の諸施設の改築を含む。

総合体育館(完成予想図)



鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上4階(一部5階)建、延べ床面積約1万2000㎡

### 施策の体系



## 4. コミュニティづくりの推進

### (1) コミュニティづくりの活性化

11地区16館構想の実現が近づきつつあることを踏まえて、今後の力点を本格的なコミュニティづくりに移行していく。コミュニティづくりは教育・文化、生涯学習の領域、さらには、健康・福祉、都市基盤の領域にまたがる市民生活の要であり、市の基本計画の柱である。このような重要性に鑑み、今後とも、各領域の施策と有機的に関連づけながら、そのいっそうの活性化をはかっていく。上の各項目で述べられていること

以外には、新たな試みとしてタウンウォッチング活動がある。その成果を生かして、各協議会がそれぞれの地域社会の将来像(ビジョン)を描き、それにもとづいた積極的なコミュニティづくりにむかうよう、多様な自主的展開を支援する。

### (2) コミュニティ構想の再検討

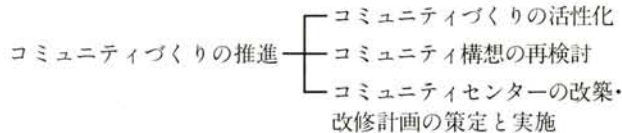
コミュニティセンター、協議会、研究連絡会の運営、組織問題等について、また圏域の見直し(新たな館の建設問題を含む)、保健センター・児童館・図書館・総合体育館などの専門館との関連のあり方については、

すでに昭和63年10月に設置したコミュニティ市民委員会において検討し実施に移していく。

### (3) コミュニティセンターの改築・改修計画の策定と実施

これまでの施設面でのコミュニティセンターの懸案はその新設であったが、今後はその維持・管理、改修・改築に重点が移行していく。既設のコミュニティセンターの老朽化、施設の陳腐化について長期的な改修計画を策定し、必要度の高いものから順次実施する。

#### 施策の体系



けやきコミュニティセンター(完成予想図)

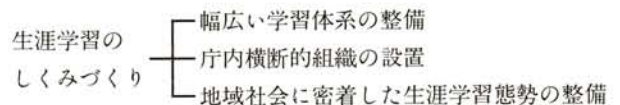


## 5. 生涯学習のしくみづくり

高度な都市化、高齢化、技術革新・情報化、国際化など社会環境・生活環境が激しく変化する中であって、ますます多様化し高度化する市民の生活充実や学習に対する要求にこたえていくためには、生涯学習について本格的に取り組んでいく必要がある。

- ① 生活学習については従来よりの社会教育を含めたさまざまな事業・施策を再点検し、有機的な学習機会の体系を構築する必要がある。高齢者向けの分野などでみられる事業の重複や、従来の事業の盲点になっている部分(例えば外国人向けの事業)などについて検討し、幅広い学習体系を整備する。体系の整備にあたっては広く調査をおこない、市民のニーズを正確に把握するようつとめる。
- ② これらの体系の構想と実現を担当する庁内横断的な組織の設置をおこない、武蔵野市独自の特色ある生涯学習社会づくりを推進する。
- ③ 地域社会に密着した生涯学習態勢の整備を進めるにあたって、市民の参加と自発性の尊重は極めて重要である。教育・文化の質の向上は市民の主体的な取り組みによってこそもたらされるのである。市は、施設と事業の両面にわたる条件整備や有効な働きかけを通して、市民の手による学習活動を啓発し、支援する。

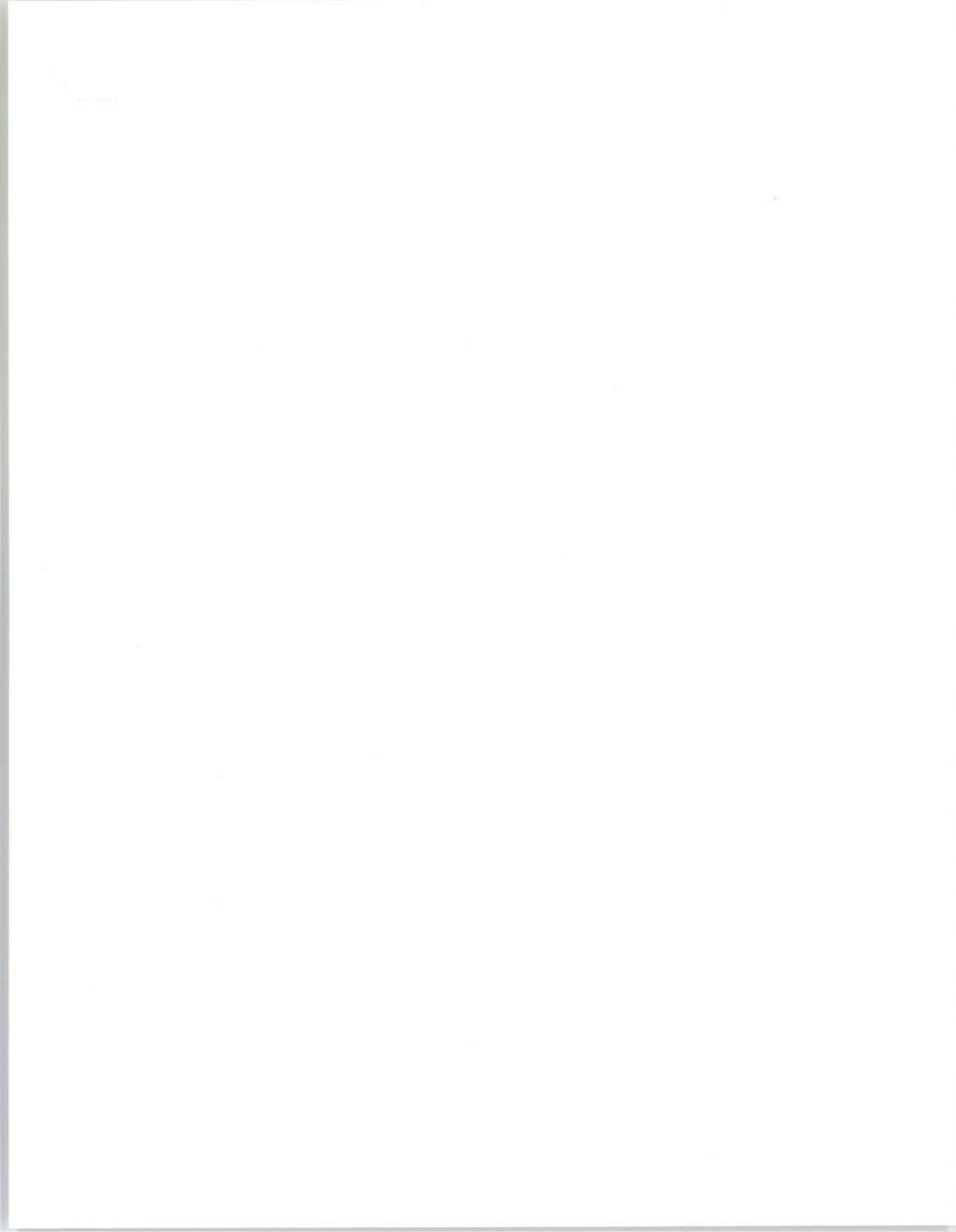
#### 施策の体系



コミュニティセンター一覽表

(64.1.1現在)

| 名 称          | 1   | 2  | 3                                 | 4                                 | 5  | 6                                 | 7                                 | 8  | 9                                 | 10  | 11                                | 12   | 13   | 14   | 15  | 16  |
|--------------|---|--|-----------------------------------|-----------------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------------|--|-----------------------------------|---|-----------------------------------|--|--|--|---|---|
| 境南コミュニティセンター | 西久保コミュニティセンター                                     | 中央コミュニティセンター中町集会所  | 吉祥寺東コミュニティセンター                    | 吉祥寺北コミュニティセンター                    | 本町コミュニティセンター   | 八幡町コミュニティセンター                     | 関前コミュニティセンター                      | 御殿山コミュニティセンター                                      | 中央コミュニティセンター                      | 桜堤コミュニティセンター                                | 吉祥寺南町コミュニティセンター                   | 緑町コミュニティセンター   | 西部コミュニティセンター                                     | 吉祥寺西コミュニティセンター   | けやきコミュニティセンター(仮称)                                       |   |
| 所在地          | 境南町3丁目22番9号                                       | 西久保1丁目23番7号  | 中町1丁目28番5号                        | 吉祥寺東町1丁目12番6号                     | 吉祥寺北町1丁目22番10号   | 吉祥寺本町1丁目22番2号                     | 八幡町4丁目10番7号                       | 関前2丁目26番10号  | 御殿山1丁目5番11号                       | 中町3丁目5番17号                                  | 桜堤3丁目3番11号                        | 吉祥寺南町3丁目13番1号  | 緑町3丁目1番17号                                       | 境5丁目6番20号  | 吉祥寺本町3丁目20番17号  | 吉祥寺北町5丁目6番  |
| 構造・面積等       | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 596.6㎡<br>地積 847㎡               | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 434㎡<br>地積 777㎡                          | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 205㎡<br>地積 181㎡ | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 260㎡<br>地積 748㎡ | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 395㎡<br>地積 745㎡                            | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 507㎡<br>地積 271㎡ | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 997㎡<br>地積 202㎡ | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 783㎡<br>地積 992㎡                  | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 602㎡<br>地積 562㎡ | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 358㎡<br>地積 978㎡           | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 344㎡<br>地積 390㎡ | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 482㎡<br>地積 918㎡                              | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 544㎡<br>地積 587㎡                | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 500㎡<br>地積 248㎡                            | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 912㎡<br>地積 192㎡                       | 鉄筋コンクリート造<br>延床面積 576㎡<br>地積 220㎡                 |
| 落成年月日        | 51.7.18   | 52.1.22  | 53.4.5                            | 53.4.22                           | 54.6.1   | 54.6.16                           | 55.6.13                           | 56.5.11  | 57.2.4                            | 57.2.6                                      | 57.3.27                           | 58.3.28  | 61.10.18   | 62.4.18  | 平成元・2(予定)   | 未定  |
| 休館日          | 金   | 月  | 水                                 | 第4水                               | 月  | 日                                 | 火                                 | 木  | 月                                 | 水   | 火                                 | 水  | 月  | 水(月祝日除く)   | 木   | 未定  |
| 主なる設備        | 会議室、遊戯工作室、児童保育室、和室(ステージ付)、調理室、図書室、体育館(ステージ付)、厚生室、 | 児童読書室、勉強室、児童保育室、和室(ステージ付)、茶室、小和室、新和室、調理室、体育室、会議室、視聴覚室、厚生室、 | 小和室、和室(ステージ付)                     | 和室、児童室、ホール                        | 小和室、会議コーナー、体育館(364㎡)、図書室、調理室、和室(ステージ付)、視聴覚室、絵画工作室、ロビー、児童保育室、 | 小和室、和室(水屋付)                       | 和室(3室)、会議室、図書室                    | 和室(ステージ付)、会議室、小音楽室、読書室、レクリエーション室(73㎡)、ロビー、会議室(3室)、 | 読書室、和室(水屋付)、和室(ステージ付)             | 控室、読書室、茶室、プレイルーム、児童室、会議室、小和室、調理室、和室(ステージ付)、 | 遊戯室、会議室、ホール、和室(ステージ付)、小和室(2室)、    | 茶室(2室)、勉強室、読書室、音楽室(2室)、調理室、会議室(2室)、児童室、ホール(209㎡)、サロン(165㎡)、和室、 | 和室(2室)、音楽室、図書室、会議室、大広間(87.5㎡)、プレイルーム(44.3㎡)、調理室、 | 和室(2室)、子供室、学習室、図書室、茶室、調理室、和室(ステージ付)、体育室(384㎡)、多目的室、視聴覚室、会議室、 | 習室、大会議室、和室(ステージ付)、小会議室、読書室、プレイルーム(107.4㎡)、練習室、児童保育室、茶室、 | 工作実習室、和室(3室)、学習室、調理実習室、ホール(48.6㎡)、子供集会所、集会所、小会議室、 |



# コミュニティセンター配置図

